

日本平動物園コレクションプラン

(令和6年度 中間報告)



はじめに

日本平動物園は「いのちを感じ、次世代につなぐ動物園」を基本理念に掲げ、動物たちが幸せにより生き活きと暮らせるよう「動物福祉」の向上を飼育管理の基幹方針とし、動物園が目指す3つの役割「保全」「教育」「調査研究」に取り組んでいます。しかし、動物園が持つ資源（施設スペース、資金、労力）には限りがあり、飼育動物を無制限に拡大することはできません。限られた資源を有意義に活用するため、どの動物を飼育展示するか選定する飼育管理計画（コレクションプラン）を策定する必要があります。日本平動物園はコレクションプラン基本方針に基づき、飼育動物種を5つのカテゴリーに区分した「日本平動物園コレクションプラン」を策定しました。

コレクションプラン基本方針

次の諸点を考慮し展示動物種、点数を設定する。

- ①日本平動物園将来構想に基づき、動物種を選定する。
- ②日本動物園水族館協会のコレクションプランに準拠し、現有動物の継続飼育を優先する。
- ③今後の入手可能性を考慮する。
- ④比較展示の効果を高める動物種の導入を図る。
- ⑤飼育の容易性（困難性）を考慮する。
- ⑥当動物園での繁殖可能性（敷地面積、獣舎環境等）を考慮する。
- ⑦ふれあい動物園に関しては、子供に人気がある動物種及び安全にふれあえる動物種とする。

日本平動物園コレクションプランカテゴリー

最優先種	特に積極的に繁殖を推進し、域外保全に貢献する種
優先種	計画的に繁殖を進め個体数を維持し、域外保全に貢献する種
維持種	繁殖は推進せず、展示を主な目的に飼育を継続する種 (他園で繁殖した個体を預かるなど、域外保全に間接的に貢献する動物種も含む)
調整種	個体群の維持が困難であり、動物福祉の観点から、飼育展示の見直しが必要な種
検討種	域外保全等に貢献するため、新たに導入することが期待され、今後調査・検討を行う種